

# 病害虫発生予察情報

## 9月月報

令和4年10月20日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2022年 9月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	29.4	-0.3	22.2	0.7	25.3	0.1	52.5	66	30.3	63
中旬	29.4	1.6	21.2	1.5	25.1	1.7	125.5	145	42.5	98
下旬	26.3	1.1	18.3	1.1	21.8	1.0	113.0	138	51.9	135
平均	28.4	0.8	20.6	1.1	24.0	0.9				
合計							291.0	118	124.7	96

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

上旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、雷を伴う日もあった。

中旬：期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れまたは曇りの日が多くなったが、期間の終わりは台風第14号周辺の湿った空気の影響を受けて雨となり、雷を伴って大雨となる日もあった。

下旬：前半は気圧の谷や前線の影響で雨や曇りの日が多く、台風第15号の影響により大雨や雷雨となる日もあった。後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。

### 2 作物生育概況

#### (1) イネ

中下旬から稲刈りが始まった。収穫時期はやや遅い傾向であった。

#### (2) 野菜

果菜類：施設トマト、キュウリの生育は順調であった。イチゴの定植期はほぼ平年並であった。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育はやや軟弱徒長気味であった。

根菜類：ニンジンの生育は平年並みであった。

イモ類：日照不足で秋ジャガイモの草勢はやや弱かった。

#### (3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：‘巨峰’の収穫終わりは2日遅かった。

‘巨峰’ 収穫終 9月22日 (+2日)

ナシ：収穫終わりは、‘幸水’と‘稲城’で2日早く、‘豊水’で8日早かった。

‘幸水’ 収穫終 8月29日 (-2日)

‘豊水’ 収穫終 9月7日 (-8日)

‘稲城’ 収穫終 9月7日 (-2日)

#### (4) 茶樹

台風や降雨の影響もほとんどなく、生育は平年並であった。

### 3 病害虫の発生概況

#### (1) イネの病害虫

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ツマグロヨコバイ	< 多 >	発生は多かった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

#### (2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや多 >	発生はやや多かった。

果樹共通

カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-------	---------	-------------

#### (3) 茶樹の病害虫

炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

#### (4) 野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キュウリ (施設)

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 多 >	発生は多かった。
トマトハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホコリダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
キャベツ		
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
コマツナ		
炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ダイコン		
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニンジン		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや多 >	発生はやや多かった。

タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネキリムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでハダニ類の発生がやや多かった。

小笠原：父島でパッションフルーツのハダニ類、マンゴーのカイガラムシ類およびかんきつ類のミカンハモグリガがそれぞれやや多く発生した。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリंगा	< 誘殺なし >

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。